

# Face to Face

2022年7月号  
Vol. 1

No. 58 TICO (ティコ) 季刊ニュースレター

## ウクライナ 避難民支援 特集号



ハンガリー出発時 岡山駅にてマスコミ各社の取材を受ける TICO・AMDA 合同チームメンバー

- ウクライナ避難民支援について p. 2
- ハンガリーでの活動 (1) (吉田修医師寄稿) p. 3~
- ハンガリーでの活動 (2) (吉田純医師寄稿) p. 5
- ウクライナ大使館訪問とウクライナ避難民支援日本版 p. 6
- 地球人カレッジ (杉本医師寄稿) p. 7
- ご支援への感謝とご案内 p. 8



# TICO

## ウクライナ避難民支援について



2月下旬のロシアの軍事行動により、ウクライナより多数の住民が周辺国に避難をしました。これを受けて、岡山の特定非営利活動法人AMDAとTICOでは合同で支援活動を行うことを決定。その時点でポーランドに次いで避難者数も多く、またAMDAの菅波理事長がハンガリーの元駐日大使とも懇意にされていた関係で確実な人間関係の元で活動を行えると判断し、ハンガリーに合同医療チームを派遣することになりました。

TICOから吉田修医師と中村が参加した第二次チーム4名は3月9日朝に岡山を出発、夕方に在日ハンガリー大使館を表敬訪問した上で羽田よりイスタンブール経由でブダペストに10日夜に到着。第一次チームと合流し、翌11日はセルダヘイ元駐日大使閣下ご夫妻と面会、さらに在ハンガリー日本大使館、センメルweis国立大学を表敬訪問して情報収集、12日よりウクライナ国境付近の町キシュバルダに移動し、そこを拠点として3月20日まで活動しました。

ハンガリーとウクライナには5つの国境検問所がありますが、そのうちの2箇所（ベルグスラーニー、ザホ

### 国境の村 ベレグスラーニー (Beregsurány)

- 3/15～ ヘルプセンターにある仮設診療所にて、ハンガリーの医療者とともに避難者の診療開始。  
24時間交代で合同医療チームから医師・看護師が入る



### 活動場所



ニー)で支援活動を行っています。3月15日からはベルグスラーニーのヘルプセンターにある仮設診療所でハンガリーの医療者と共に避難者の診療に当たり、並行して3月20日から、町長からの要請を受けてザホニー駅の構内にある仮設診療所にて現地医師と共に避難者の診療を行いました。またウクライナ人の女医さんが代表をつとめる地元のNPO団体との協働を通じて、ウクライナ内の医療機関への医薬品支援等も行いました。

吉田純医師は後続の第三次チームとして派遣され、ベルグスラーニーやザホニー駅の仮設診療所にて診療に当たりました。

### 国境の町 ザホニー駅 (Záhony station)

- 3/20～ 町長の要請を受け、駅の中にある仮設診療所にて、ウクライナからの列車が到着する午後5時から3時間、現地医師とともに避難者の診療にあたる



## ハンガリーでの活動（吉田修医師寄稿）



移動診療所の前で吉田修医師



駅構内の簡易診療所で薬剤の在庫を確認する吉田修医師



移動診療所の中、ハンガリーの支援メンバーと情報交換

### はじめに

2月24日にロシアがウクライナに侵攻を開始し、この馬鹿げた戦争によりウクライナからとんでもない数の避難民が周辺国に脱出し始めました。国際協力を実施しているNGOとして「もどかしさ」を感じていた時、AMDAがハンガリーで避難民支援を行うとのメールが届きました。早速、菅波代表に電話をしたところ、AMDAとTICO合同で行うことになり、第2陣として我々が派遣されることとなりました。ハンガリー到着後、多くの方のご協力により国境2か所で医療支援チームに加わりました。われわれの到着後、ヨーロッパ各地から続々とさまざまな国のNGOが支援に訪れました。EUの壮大な理想がベースにあることを実感しました。

### 医師としての現地での活動

現場では、ハンガリーの人々が寛大に無条件で避難民を受け入れており、開戦からわずか2週間で官民一体となって受け入れ体制を整えていました。行政手続きを簡素化し、輸送、温かい食事、宿泊、支援物資、医療も無料で提供されています。ペットとともに避難する人を多く見かけましたが、どの避難所もペットを受け入れる体制が整っており、国境の駅にもドッグフードと水飲み場が用意されていました。

避難民はほとんど女性と子どもです。戦闘可能な18歳

から60歳までの男性は国から出られないからです。夫、あるいは父親を戦地に残して国外に脱出する人の心中は如何なるものでしょうか？言葉の壁もあり、私にはそれを直接聞いてみる勇気はありませんでした。しかし、ほとんどの母親は子どもの前では気丈に振る舞っていました。子どもたちも母親の心中を察してか、明るく振る舞っているように見受けられました。国境を越えた安心感と、行き届いた避難民受け入れ態勢への信頼感も作用しているのだと思われました。

避難民の多くは、ヨーロッパ各地に住む親戚や友人を頼って脱出しており、ハンガリーに留まる人は少数のようでした。国境のヘルプセンターに宿泊する人も短期間のケースが多く、避難民の総数が多い割には、ボランティアの負荷は大きくないと感じました。基本的には旅行可能な人であり、医療のニーズもそれほど高くはありません。医療コンテナの仮設診療所を訪れる人は、頭痛、腰痛、不眠、子供の嘔吐などの軽症者か、「血圧の薬が切れた」など治療継続



食事の提供を待つ避難民のご家族

が必要な慢性疾患患者がほとんどでした。

中には、治療していない、かなり進行した乳癌の患者さんもいましたが、ここではどうすることもできないので、目的地で治療してもらうよう伝え、簡単な処置のみ行いました。また、ほかの医師の担当日に、心筋梗塞を起こした高齢の女性が担ぎ込まれ、心電図で診断がつき、救急車で最寄りの病院へ搬送したという事例もありました。医療のインフラは整っており、きちんと対処できています。

## これまでの難民支援と比較して

1990年代、私はAMDAの派遣でルワンダ内戦の難民キャンプなどでの医療プロジェクトに参加しました。あのときは、何もない所に1か所で30万人ほどが滞在する難民キャンプがいくつもできました。安全な水も食料はなく、コレラが大発生、また、栄養失調やマラリアの蔓延など、すべてが極限状態でした。当初はバタバタと人が亡くなっていました。そうした中で、国連を中心に世界中のNGOが集結し始め、少しずつ安全な水の確保、安全なトイレ作り、食料調達ができるようになりました。大きなテントを仮設診療所にして、薬品を調達、自分達の健康を守りつつ、懸命に命を守ろうと奔走しました。

今回の状況は、それとはまったく異なります。多くの避難民にとってハンガリーは通過点に過ぎず、また、元々インフラが整っている上に、ハンガリーの人々の合理的で素早い対応が見事でした。

## 世界の現実

ハンガリーの医師たちと第3次世界大戦の可能性について議論しました。ちょっとしたきっかけでロシアとNATO (North Atlantic Treaty Organization) との戦争に拡大する可能性があります。ロシアが生物化学兵器や戦術核兵器に手を出すことも危惧されています。また、ロシアが撤退した地域より残酷な戦争犯罪の状況が克明に報道されています。許し難い蛮行です。

この馬鹿げた戦争は20年以上権力を掌握した独裁者プーチンが始めました。ロシアにも個人の自由、言論の自由を保障する憲法があり、本来は民主主義国家です。しかし言論は統制から次第に弾圧され、多くのジャーナリストや野党幹部が暗殺、あるいは暗殺されそうになりました。情報は歪められてナショナリズムが煽られ、選挙に介入し、戦争に突き進みました。太平洋戦争に突き進んだかつての日本と同じ構造です。

民主主義国家VS独裁国家の戦争に、安易な妥協による停戦はあり得ないでしょう。最終的にはロシア国民が正し

い情報を手に入れて命懸けて民主主義を取り戻すまで終わらないのかもしれませんが。

私は、民主主義がさまざまな困難はあるにしても、正しく、権力者の暴走を抑制し、戦争に突入させないための最良の方法だと思っています。現在の世界の趨勢は民主主義を基本にした国家体制であり、独裁国家は例外的だと、何となくですが思っていたのです。しかし、ある調査によると、民主主義国家87か国に対し独裁国家は92か国と、世界は今もなお民主主義国家より独裁国家のほうが多いのです。人類はそれほど進歩していないのです。アラブの春も中途半端に抑え込まれました。ミャンマーでも独裁者の弾圧が続いています。独裁者に武器を提供しているのはロシアと中国です。確かに国連は機能不全に陥っています。

## さて私たちは

さて、日本は大丈夫なのでしょう？ ある調査によると、日本の報道の自由度は民主党政権時は世界11位、安倍内閣で61位まで落ちました。政府の情報の改ざん、官僚の忖度、なくならない悪質な選挙違反、有権者の無関心、下がる一方の投票率、これでは独裁を許してしまうのではないのでしょうか？ 独裁の気配を察知し、早期に目を摘む、質の高い民主主義が肝要です。

核兵器使用は広島・長崎で終わりにしなければなりません。日本の役割は大きいはずですが。戦争に勝者はいません。ましてや、世界核戦争に生存者はいません。



移動診療所の外観

## ハンガリーでの活動（吉田純医師寄稿）



駅構内の簡易診療所で支援メンバーと共に（吉田修医師の右の男性はザホニー町長）

私が現地に入った頃は、毎日 200-300 人程の人々がウクライナから国境を越えてヘルプセンターを経由して各地へ避難されており、ここに来るまでの経緯を堰を切ったように話して下さる方、逆につらすぎて話したくない方、何が起きているのか完全には理解できない子どもたち、生まれて数週間の赤ん坊までもが安全を求め国境を越えてきていました。

センターに設置されたクリニックに来るのは毎日 10-15 人程度。すぐに次の町へ移動するからとか、軽い症状しかないからという理由で、クリニックに来ない人が大半でしたが、避難されている人達の中で過労やストレスを抱えていない人は一人もいませんでした。医師として活動に参加したものの、正直なところ『人として何かできることはないのか』を考えることが多かったです。

また、体調不良を訴えるボランティアスタッフも少しずつ増えている状況でしたので、時間のあるときにヘルプセンター内を歩きながら、お互いに声かけをするようにも心がけました。ハンガリー各地から、また海外から参加していたボランティアの方々と世界情勢や医療のあり方、ハンガリーのおいしいご飯に至るまで様々なことを語り合うことができ、センターの雰囲気はとても温かいものでした。仲間意識も深まり、患者さんの救急搬送等のアレンジもとてもスムーズでした。自分の無力さを歯がゆく感じる毎日でしたが、チームの一員として少しは貢献できたかなと感じられたのは、このセンターの雰囲気のおかげだと思っています。ほんの 2 週間でしたが、ここには書き切れない多

くの経験、学び、友人を得ることができました。

ウクライナでは、いまだ停戦の目処も立っておらず、戦後のウクライナ復興の道のりも長く険しいことは想像に難しくありません。ウクライナに平和と平穏が 1 日でも早く届くことを祈りつつ、これからも自分にできることを微力ながらも続けていきたいと思います。



外傷を負ったウクライナ避難民の方の処置をする吉田純医師

# ウクライナ大使館訪問とウクライナ避難民支援日本版

## CASE1

「いつも服用している薬が切れそう！医師に処方してもらいたいけど、どの診療科に行けば良いか分からない。」



相談シート記入

- 健康状態に不安があるので医師に相談したい
- 慢性疾患の常用薬が切れた（切れそう）なので処方してほしい
- 慢性疾患の定期診察を受けたい
- 怪我をしたので医師に治療してもらいたい
- この症状、医療機関に行くべきか知りたい
- この症状、何科に行ったらいいのを知りたい

オンライン医療相談

避難民の方が住む地域の医療機関を紹介

受付で困らないように問診シート作成支援



現状把握と日本でのニーズを知るために4月1日に在日ウクライナ大使館を訪問し担当官と面談いたしました。先方からは詳細に状況をご説明いただき、日本でのウクライナ避難民に対する医療面での支援の要請を受けました。

日本のウクライナ避難民は居住地が全国に広がっているため、健康面で不安等を感じる避難民に対して、TICOメンバーの医師による遠隔で行う無料健康相談サービスの提供を開始しています。場合によっては各居住地の医療機関等を紹介し、避難民がそれぞれの場所で少しでも安心して健康な生活が送れるように支援することを考えています。



在日ウクライナ大使館前にて

## CASE2

「こういう場合、日本ではどの病院に行けばいいの？」



相談シート記入

- 健康状態に不安があるので医師に相談したい
- 慢性疾患の常用薬が切れた（切れそう）なので処方してほしい
- 慢性疾患の定期診察を受けたい
- 怪我をしたので医師に治療してもらいたい
- この症状、医療機関に行くべきか知りたい
- この症状、何科に行ったらいいのを知りたい

オンライン医療相談

適切な診療科を助言。 TICO



相談者の住む町の医療機関を紹介

問診シート作成支援をして受付への心理的ハードルを下げるお手伝い

## CASE3

子どもが熱を出した！病院に行きたいけれど言葉も通じないしどうしよう



相談シート記入

- 健康状態に不安があるので医師に相談したい
- 慢性疾患の常用薬が切れた（切れそう）なので処方してほしい
- 慢性疾患の定期診察を受けたい
- 怪我をしたので医師に治療してもらいたい
- この症状、医療機関に行くべきか知りたい
- この症状、何科に行ったらいいのを知りたい

通訳者と一緒に

避難民の方が住む地域の医療機関を紹介

受付で困らないように問診シート作成支援



## CASE5

虫に刺された！「転んで怪我した！」



相談シート記入

- 健康状態に不安があるので医師に相談したい
- 慢性疾患の常用薬が切れた（切れそう）なので処方してほしい
- 慢性疾患の定期診察を受けたい
- 怪我をしたので医師に治療してもらいたい
- この症状、医療機関に行くべきか知りたい
- この症状、何科に行ったらいいのを知りたい

オンライン医療相談



避難民の方が住む地域の医療機関を紹介

軽微な症状なら市販薬を紹介。相談者が薬局で市販薬を購入！



## CASE4

「いつも服用している薬が切れそう！薬局で買いたいけれど、商品名がわからない。」



相談シート記入

- 健康状態に不安があるので医師に相談したい
- 慢性疾患の常用薬が切れた（切れそう）なので処方してほしい
- 慢性疾患の定期診察を受けたい
- 怪我をしたので医師に治療してもらいたい
- この症状、医療機関に行くべきか知りたい
- この症状、何科に行ったらいいのを知りたい

相談者が服用している一般薬の成分を調べて、日本の市販薬でどれが該当するか助言

相談者は無事に市販薬を購入！



## 地球人カレッジ (杉本医師寄稿)

# 地球市民教育公開セミナー 地球人カレッジ

ON ZOOM

## 地球人カレッジとは 『地球規模で考えながら地域で活動していく』 をテーマに TICO が開催している公開セミナーです

新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックによって、各種ミーティングやセミナーのオンライン化が一気に加速している昨今ですが、TICO が長年開催してきた地球市民教育公開セミナー「地球人カレッジ」も、昨年度より ZOOM を利用したオンラインで実施するようになりました。これまでのオンライン開催の実績は下記の通りです。

オンラインで実施することで、場所を選ばずに参加でき

開催日時	テーマ	講師/所属
2021年6月29日	人口激減時代へ - 移民が導く日本の未来	毛受敏浩 氏/ 公益)日本国際交流センター
2021年8月3日	ウイグルで何が起きている? 在日ウイグル人にわかりやすく教えてもらおう!	サウト・モハメド氏/ NPO 法人日本ウイグル協会
2021年10月1日	アフリカの妊産婦死亡を減らすために	三好康弘 氏/ フリーランス国際協力医
2022年4月15日	ウクライナ避難民支援帰国報告	吉田修 氏、中村哲郎 氏、 吉田純 氏/NPO 法人 TICO

るようになって、徳島県以外からの参加者も多くみられるようになりました。また、録画した動画をネット上で公開して、時間の都合が合わない方々も視聴できるようになりました。今後は、このようなオンラインのメリットを活用しつつ、やはりオンサイトの臨場感や一体感も大切にしたい地球市民教育も企画していきたいと思っております。地球人カレッジで取り上げてほしいテーマや、話を聞いてみたい講師などありましたら是非 TICO 事務局までご一報下さい。

テーマ 『ウクライナ避難民支援帰国報告』  
日時 2022年4月15日(金)19:00~20:00  
報告者 吉田 修 (医師) 中村 哲郎 (調整員)  
吉田 純 (医師)  
特定非営利活動法人 TICO

テーマ 『人口激減時代へ - 移民が導く日本の未来』

日時 2021年6月29日(火)19:00~20:15

講師 毛受敏浩 氏

公財)日本国際交流センター執行理事



プロフィール:

国際交流、移民問題を中心に幅広い分野を担当。慶応大学、静岡文芸大学で非常勤講師を歴任。内閣官房地域魅力創造有識者会議委員、文化庁日本語教育小委員会委員、新宿区多文化共生まちづくり会議会長などを歴任。文藝春秋2018年11月号「七国の移民政策」座談会が年間読者賞となる。近著に『移民が導く日本の未来』。

テーマ 『ウイグルで何が起きている? 在日ウイグル人にわかりやすく教えてもらおう!』

日時 2021年8月3日(火)19:00~20:15

講師 サウト モハメド氏

特定非営利活動法人 日本ウイグル協会



プロフィール:

1977年、新疆ウイグル自治区のウルムチ生まれ。中国で鉄道関係の大学や会社を経て、2016年に来日。2021年、徳島大学大学院地域科学専攻修士号取得。現在は特定非営利活動法人 日本ウイグル協会にてウイグル人権活動、異文化交流などに従事。

「アフリカの妊産婦死亡を減らすために」



日程 2021年10月1日(金)

時間 19:00~20:15

講師 三好康広 医師

## ご支援への感謝のご案内

### ご支援ありがとうございます!

ウクライナ避難民支援には、6月20日現在で220名ほどの方からのご寄付をお預かりしました。ありがとうございます。いただいたご寄付は、AMDAを通じてハンガリー国内への医薬品等支援費、ハンガリーへの医師派遣交通費として使わせていただきました。

引き続きのご寄付をよろしく願い申し上げます。日本に避難してきている方々への医療支援費用として使わせていただく予定です。

TICOのウクライナ避難民支援活動にご協力いただける方は、下記の口座へご支援をお願いいたします。

#### ■ 振込の場合

ゆうちょ銀行

店番 169

イチロクキュウ店 当座 0037649

受取人名 トクヒ) テイコ

#### ■ 電子決済の場合

PayPay 09086629737

電子決済には領収書が出ませんので、予めご了承ください。

## TICOの活動を応援してください!

### TICOの会員

会員となって資金面からTICOの活動をサポートして下さる方を募集しています。会員の方には、TICOのニューズレター「Face to Face」を毎月お送りいたします。

#### 年会費

■ 賛助会員：個人 12,000円 学生 6,000円 団体 15,000円

■ 正会員：12,000円

※ 通常は賛助会員でのご入会をお願いしています。

総会での議決権を持つ正会員を希望される方は事前にご連絡ください。

#### ご入会方法

##### ■ ホームページから

1. ご入会フォームにお名前等をご入力ください。

2. お支払い方法の選択：クレジットカード継続決済とゆうちょ銀行自動引き落としのいずれかを選択し、手続きに進んでください。

##### ■ インターネットをご利用できない方

年会費を郵便局備え付けの郵便振替用紙で、次の講座へお支払いください。ご住所・ご指名(フリガナ)・お電話番号を通信欄にお書き添えください。

口座番号 01640-6-37649 / 加入者名 TICO

### ご寄付

皆さまからのご寄付は、支援活動・団体の運営を継続するための大きな支えです。

ご支援をよろしく願い申し上げます。

#### 銀行振込

■ 銀行名 楽天銀行

■ 支店名 第一営業支店(支店番号251)

■ 口座種類 普通

■ 口座番号 7657541

■ 口座名義 特定非営利活動法人TICO

※カナ入力の場合は、トクヒ) テイコ

PayPay 090-8662-9737

クレジットカード ホームページをご覧ください。

#### 郵便振替

■ 口座番号 01640-6-37649

■ 加入者名 TICO

毎年7月は会費納入をお願いしています。会費の納入は、クレジットカードでの継続支払いが便利ですので、TICOのホームページの「寄付・募金する」するからお手続きください。

#### 特定非営利活動法人TICO事務局

〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川120-4

電話 : 0883-42-2271(平日 9:00~17:00)

メール : info@tico.or.jp

ホームページ : www.tico.or.jp

フェイスブック : www.facebook.com/ticohq

ブログ : blog.goo.ne/tico.blog

Twitter : @TICOjapan

Instagram : www.instagram.com/ticojapan/

